

令和5年度第1回厚木市立病院運営審議会会議録概要

- 1 日時 令和5年6月20日（火）
午後6時30分から午後8時10分まで
- 2 場所 A棟2階大会議室
- 3 出席者 <厚木市立病院運営審議会委員>
三宅会長、堀副会長、杉山委員、伊藤委員、佐々木委員、
武藤委員、笹生委員、佐藤委員、小谷委員、山口委員
<厚木市立病院>
長谷川病院事業管理者、岸病院事業局長、渡部副院長、藤原副院長、
郡山副院長、小路経営管理課長、藤井病院総務課長、佐藤施設用度課長、
吉川医事課長、多田患者支援センター長、赤野経営管理課経営・経理係長、
小北経営管理課副主幹、中山医事課主査、大村経営管理課主任
- 4 会議概要
 - (1) 開会
長谷川病院事業管理者あいさつ
 - (2) 委嘱状交付
堀委員へ長谷川病院事業管理者から委嘱状の交付
 - (3) 委員あいさつ
 - (4) 病院職員紹介
事務局から出席の病院職員を紹介
 - (5) 審議会の規程を説明
事務局から当審議会の規程について説明
 - (6) 会長及び副会長の選出
互選により、副会長に厚木歯科医師会の堀委員が選出され、決定した。
 - (7) 審議会の開催の確認
委員の過半数の出席が確認されたため、審議会の開催が成立した。
 - (8) 会議の傍聴者の有無
本日の審議会の傍聴希望者はなし。

(9) 議事 <各議題説明後、事前の質疑事項について回答>

議題(1) 第3次厚木市立病院経営計画の点検・評価

資料1、2に基づき小路経営管理課長説明

本計画の点検・評価は、各年度に1回以上、本審議会に意見を求めることとしており、その結果を公表する。

点検・評価の基準は資料1の1ページ下段「2 点検・評価の基準」に基づき、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）を実施した。

次に、点検・評価の総括として、2ページ下段（右側）点検評価表1では、収支改善、収入確保、患者確保、経費削減、質の向上、小児・周産期における計23項目の重要業績評価指標（KPI）の点検・評価の結果を集計しており、A区分が12、B区分が4、C区分が7となった。

次に、3ページ真ん中（右側）点検評価表2では、基本方針の代表的な指標24項目及び重点施策4項目の計28項について、点検・評価の結果を集計しており、A区分が16、B区分が4、C区分が8となった。なお、代表的な指標がKPIと重複している項目が13項目となる。

総括として、収益的収支は、経常利益が約15.8億円となり、3年連続の経常利益を計上した。資本的収支は、将来を見据え30億円を病院整備基金に積み立てたことで、投資が計画値を大幅に超過した。これらの結果、現金残高は計画に比べて約14億円減少したが、累積欠損金は30億円を下回り、財務の健全性が図られた。

今後は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類となり、補助金が大幅に見直されたが、引き続きコロナ対応に万全を期すとともに、救急受入体制を強化すること、1日当たり入院患者数285人を達成すること、外来単価を上げることが健全な病院経営を行う上で最大の課題と捉えている。

このため、救急隊との情報交換及び連携の強化を図り、救急患者を積極的に受け入れるほか、地域の医療機関と「顔と顔の見える関係」の構築に努めるとともに、比較的症状の安定した患者の逆紹介を更に推進することで入院及び外来の収益を拡大し、経営強化を図る必要があると考えている。

議題に対する委員から事前の質疑について

別紙「令和5年度第1回運営審議会 質疑・意見について」のとおり回答

（1～5ページ、質疑1～26）

佐藤委員（質疑4について）

がん患者の情報について、DPCを活用しているか。

吉川医事課長

現在は、神奈川県が公表しているがん診療連携拠点病院及び指定病院の診療実績により、がん患者の把握に努めている。今後、DPCの活用を含め新たな情報収集を検討していく。

佐藤委員（質疑 7 について）

退職が多かった理由は、退職による年齢層の変化はあるのか。

藤井病院総務課長

看護師の退職者は、おおむね 25 人だが、令和 3 年度は 36 人退職した。退職者全体の年齢層の把握は行っていないが、新規採用者の離職率については例年 10%前後だが、令和 3 年度は 16.1%となっている。

佐藤委員

看護師が 36 人退職したことで、人件費率に影響はあるのか。

藤井病院総務課長

点検・評価表 1 の 4 ページ（No14：給与費比率）のとおり、令和 3 年度は 61%であり、令和 4 年度は 59.8%なので、多少は影響している。

小路経営管理課長

補足として、退職金は引当金から支払うため、人件費比率に反映されない。また、給与費比率が下がった理由には、医業収益が増えたことも影響している。

佐藤委員（質疑 10 について）

救急、小児・周産期の繰入額に対して、全て使用しているのか。

小路経営管理課長

繰出基準に基づき、その項目ごとに負担金の金額を充てている。

佐藤委員（質疑 26 について）

入院単価を上げる取組を進めているが、今後も上がるのか。

吉川医事課長

当院で取得できる加算の取得に努めている。今後は病院機能評価の受審に向けて院内の体制を整えており、さらに上位の総合入院体制加算の取得を目指している。また、体制が強化されることで新たな施設基準の取得もできると考えている。

佐藤委員

検体検査加算に関する業務は委託しているのか。

吉川課長

当院の職員で業務を行っている。医師 1 名を専属で配置することで施設基準の取得ができるため、その取組を進めている。

佐藤委員

総合入院体制加算はどこを目指しているか。

吉川課長

現在は加算3を取得している。加算1の取得で約60,000千円、加算2の取得で約30,000千円の増収を見込んでいて、まずは加算2の取得を目指している。

杉山委員（質疑3について）

光熱費の使用量を削減しているが、おおむねいくらになるのか。

佐藤施設用度課長

電気料では、約55,000千円増えているが、使用量では、約10,000千円削減している計算となる。

杉山委員

節電対策を進めるに当たり、患者さんから苦情はあるのか。

佐藤施設用度課長

患者さんからの意見等はない。従来の節電対策では、患者さんに係る場所を除いて進めていたが、昨年度は、外来ホールや病棟も含め、施設全体で節電に取り組んだ結果、更なる使用量の削減ができた。

杉山委員

光熱費は資料1の4ページの収支表の中では、どの項目に計上されているのか。

佐藤施設用度課長

収支表の2経常費用の(1)医業費用のうち経費に含まれている。

杉山委員（質疑10について）

救急医療について、3次救急の構想はあるのか。

長谷川病院事業管理者

高エネルギー外傷などを対応する3次救急は、当院の夜間体制では対応できないため、近隣の大学病院に搬送をお願いしている。現在、救急の専門医が不在のため、日勤帯は救急医として常勤医1名に他院から非常勤を招いて対応している。今後、救急医の配置や体制などが整った場合には、考えていきたい。

杉山委員

小児救急は、貴院の取組もあり、厚木地区では患者が困ることはないと思うが、大和市立病院と比較して小児科医の人数は半分であり、患者受入れの現状はどうか。

三宅会長

休日夜間急患診療所に小児科専門医を配置して、一次救急を担いつつ、厚木市立病院と連携して対応している。

長谷川病院事業管理者

当院は二次救急として、小児科専門医が対応をしている。今後、働き方改革があるが、現状の体制を維持できると想定している。

小谷委員（質疑7について）

令和3年度の看護師の退職理由として、コロナが原因によるものか。

藤井病院総務課長

退職時に理由を確認しているが、コロナは挙がっていない。

（点検・評価の今後について）

小路経営管理課長

外部評価及び意見は、委員の皆様からの意見を基に、三宅会長と事務局で調整し、皆様に確認をしていただいた後に公表したいと考えている。

三宅会長

事務局からの説明の流れで手続を進めてよろしいか。

→全員了承

議題(2) 令和5年度厚木市病院事業会計予算の概要（報告）

資料3に基づき小路経営管理課長説明

収益的収入については、病院事業収益が11,857,000千円、前年度比114,000千円の増加。主な理由は入院収益によるもの。収益的支出については、病院事業費用が11,795,000千円、前年度比240,000千円の増加。主な理由は材料費と経費となるが、特に経費のうち、光熱水費は139,500千円、委託費は54,123千円で、いずれも物価や人件費などの高騰による増加を見込んでいる。結果、収益的収支については、差引62,000千円の黒字となるが、昨年度比較では126,000千円のマイナスとなる。

資本的収入については、1,076,000千円、前年度比278,000千円の増加。主な理由は企業債によるもの。資本的支出については、1,606,000千円、前年度比369,000千円の増加。主な理由は建設改良費によるもの。結果、資本的収支については、差引530,000千円のマイナスとなり、昨年度比較では192,197千円のマイナスとなる。

これらの結果、全体の現金収支については、148,229千円のプラスとなる予算を計上した。

議題に対する委員から事前の質疑について
別紙「令和5年度第1回運営審議会 質疑・意見について」のとおり回答
(5ページ、質疑27~29)

佐藤委員

手術支援ロボットのライセンス費用はいくらか。

佐藤施設用度課長

手術支援ロボットはリース契約による購入となる。今年度は56,000千円を予算計上しており、8月から支払いを開始していく。

佐藤委員

この費用は収益的収支に含まれているのか。

小路経営管理課長

資本的支出の建設改良費に含まれている。

杉山委員

手術支援ロボットの導入による収益増と、支出増はどちらが多いと考えているか。

長谷川病院事業管理者

今年度の手術を何件実施できるかは未定ではあるが、手術による収益よりも導入等による費用の方が大きいと考えている。

杉山委員

予算には、ロボット導入による収入増を見込んでいるのか。

小路経営管理課長

様々な取組による結果で予算を計上している。個別に計算して見込んではいない。

長谷川病院事業管理者

手術支援ロボットを導入することで、高い技能を持った医師を招くことができたり、高度な医療を提供することにより、他の疾患でも当院を受診したりするなど、様々なところに波及効果があることを期待している。

山口委員

建設改良費で約3億円増加しているが、どのような内訳か。高額な医療機器を購入するのか。

小路経営管理課長

病院建設時に購入した医療機器の更新などが控えているため、年々上がる傾向にある。令和5年度では、特定の高額な医療機器の購入ではなく、様々な医療機器の購入を積み上げて、この金額を計上した。

また、電子カルテや放射線治療機器などは非常に高額なため、それらに備えて、令和4年度に30億円の基金積立てを行うなど、費用の平準化に取り組んでいる。

佐藤委員

ふるさと納税で人間ドッグを提供していると思うが、実績はどうか。

小路経営管理科長

ふるさと納税の返礼品の1つとして、脳ドッグを実施しているが年間4、5件で推移している。ふるさと納税の制度上、厚木市民には返礼品を提供できないため、件数は伸び悩んでいる。

議題(3) 地域医療支援病院の承認要件

資料4～6に基づき吉川医事課長説明

令和4年度については、年間合計で紹介率85.9%、逆紹介率82.3%。地域医療支援病院の承認要件は、全て満たしている。また、経営計画の計画値に対しては、紹介率が7.4%、逆紹介率が2.3%上回っている。

共同利用の状況については、累計（前年度比）で、CT139件（△34件）、MRI73件（△46件）、RI核医学検査80件（△13件）、放射線治療35件（+15件）で合計327件（△78件）。

研修会については、新型コロナウイルス感染症の状況により4回のみ。令和5年度は、コロナが5類へ移行されたことから、年12回以上の実施が必要となるため、随時開催していく。

議題に対する委員から事前の質疑について

別紙「令和5年度第1回運営審議会 質疑・意見について」のとおり回答
（5ページ、質疑30）

議題(4) その他（ア）浸水防止対策工事について

資料7に基づき佐藤施設用度課長説明

災害拠点病院としての機能を維持し、医療を継続するため、想定最大規模の浸水に対応した浸水防止対策となる。なお、工事は3期に分割し、安全対策を講じつつ、診療を継続していく。

佐藤委員

病院を建替えてからまだ日が浅いが、この時期に工事を実施する理由は。

佐藤施設用度課長

平成 24 年 10 月の病院建設開始時において、この付近は 50cm 程度の浸水が想定されていたため、建設時に 70cm 嵩上げた。その後、平成 29 年 9 月に想定最大規模の浸水が更新されたことに伴い、今回、これに対応した工事を実施することとした。

小谷委員

物資や人の移動はどのように想定しているか。

佐藤施設用度課長

防水板を設置している間は閉鎖されるため、物資等の移動は出来ない状況となる。浸水想定時間の 4 時間を過ぎて、水が引いた後、直ちに医療を再開していく。

三宅会長

工事に係る費用について、市の負担はあるのか。

小路経営管理課長

災害拠点病院の機能形成に係る事業のため、全額が一般会計からの負担金となる。また、国庫補助金が採択されており、おおむね半分は国費となるので、残りの半分が一般会計の負担となる。

議題(4) その他(イ) 働き方改革の取組について

資料 8 に基づき藤井病院総務課長説明

現状の方針では、B 水準の適用に向けて取組を進めている。宿日直許可の申請状況は産婦人科及び小児科は全ての時間で取得、外科は午後 10 時から翌 8 時 30 分まで取得、内科は申請手続を進めている。

また、働き方改革を進めるに当たり、ビーコンの導入を検討している。

杉山委員

厚生労働省の指針等を踏まえた上で、産婦人科の宿日直は取得できたのか。

また、外科は日直の取得ができなかった場合は、振替で対応するのか。

藤井病院総務課長

産婦人科は問題なく取得できた。外科は午後 5 時 15 分から午後 10 時までは時間外勤務で対応することになると想定している。

佐藤委員

今後、ビーコンによる勤怠管理を導入すると、より正確な勤怠管理になるので、時間

外勤務の申請が増えていくが、その対策は検討しているのか。

藤井病院総務課長

ビーコンの導入は検討中のため、時間外の取決め等も併せて検討する。

**議題(4) その他(ウ) 厚木市立病院開設 20 周年記念イベント企画について
資料 9 に基づき小路経営管理課長説明**

当院は平成 15 年 4 月に神奈川県から移譲され、本年 4 月に開設 20 周年を迎えた。この 20 周年を契機に、これまでの歴史の振り返りながら、イベントを実施していきたいと考えている。主なイベントとして、記念講演会、記念祝賀会(院内)、記念冊子、タグライン募集などを予定している。

(10) その他

経営管理課大村主任

議題(1) 外部評価については、三宅会長と調整の後、委員の皆様には照会させていただくので、御意見をお願いしたい。また、第 2 回会議については、8 月上旬に開催を予定している。いずれも、詳細は改めて事務局から案内する。

5 閉会

堀副会長あいさつ